

シリーズ
9
弁理士風土記
(群馬県)

▼事務所屋上からの榛名山展望



私の事務所は前橋市の郊外にあり、3階建ての事務所屋上に上がると、周囲に高い建物は殆ど無く、360度自然の視界が楽しめ、特に赤城山・榛名山が良く見えます。また、事務所近くの田んぼからは、田植えの頃にはカエルの声が聞こえて来ます。群馬県は、単位人口当たりの自動車保有台数が日本一という車依存度が高い県で、私の事務所に来所するお客様は、皆さん車を利用しており、群馬では駅の近くが必ずしも良い立地とはいえません。

群馬県には、上毛三山と言われている赤城山・榛名山・妙義山の他、浅間山・谷川岳等多数の山々があり、冬季にはこれらの山々に雪を降らせた後の風が利根川に沿って一気に吹き出し、有名な「からっ風」と呼ばれる強い風が吹きます。また、これらの山間には、伊香保温泉・水上温泉・草津温泉等の温泉や自然に恵まれた多数の観光地があります。



▲日本イワナセンターにて筆者

左写真は、これらの観光地の一つで、ファミリーでも簡単に溪流釣りが楽しめる群馬県利根村にある「日本イワナセンター」で、岩魚を釣り上げた時の写真です。

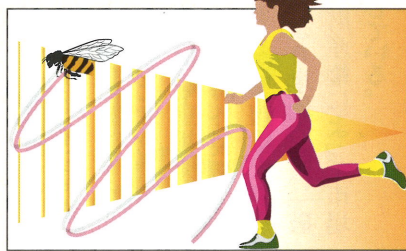
私は、昭和62年の独立開所以来一貫して「群馬で生まれ群馬で育った地元弁理士」として、知的財産権を通じて郷土群馬の産業発展に全力を傾注する事を事務所の基本方針にしています。また、地元弁理士として、群馬県知的所有権センター及び前橋商工会議所で無料発明相談を担当しており、さらに、発明協会分会顧問をしている渋川及び藤岡の発明展では、毎年「羽鳥特許事務所所長賞」を出しています。

知的財産権
立見席

アミノ酸系飲料

健康・ダイエット・元気などをうたい文句にしたアミノ酸系飲料はコンビニ、スーパーの飲料水の棚の主役。スポーツの季節の到来とともに売れ行きはウナギ昇りとなる。棚で目に付くアミノ酸系飲料は実に多彩である。ビタミンとともにアミノ酸が体に良いことは古くから知られている。だが、感心し、驚いたのは理化学研究所を訪れた時のこと。研究材料を求めて野山を駆け巡る研究者が、スズメバチの生態を注意深く観察したことから数種のアミノ酸が元気の元でダイエットの効果を持つことがわかった。

観察するとスズメバチの幼虫は肉食で親が運んできた肉団子をもらうとともに親に透明な液体を渡していたという。スズメバチの親は食道が細く、肉を飲み込める状態ではない。それにもかかわらず人間で言えば東京から名古屋あたりまで毎日出かけていって狩をするスタミナがある。このスタミナの源は、親スズメバチが貰う透明の液体に秘密があるはずと分析し、アミノ酸のミクスチャーである



ことを見つけたと研究者はいうのだ。この成分をマウスに飲ませ流水プールで泳がせると、泳ぐ時間が違ってスタミナがあることがわかった。さらに分析を重ね、筋肉疲労を起こす乳酸値が小さく、血糖値の減少も少なく、体に蓄えている脂肪を燃焼させることでエネルギーを出す現象が明らかとなっていた。すでに、この頃特許出願(1989年)された状態であった。

だが、この効果を発揮するためには清涼飲料水の缶あたり2gから3gの原料が必要で製造コストの面で課題があったこと、飲みやすさに問題があったことなどから製品化に壁が塞がっていた。この壁を明治乳業が破って製品化し、プームの火付け役となったわけだ。

(T.K)

さらに、地元に着した活動という観点から、学校のPTA活動(過去PTA会長を計4年・4月からは中学校のPTA会長と高校のPTA副会長予定)及び地元前橋市の商工会議所活動に積極的に取り組んでいきます。

特に、平成12年度には地元の前橋商工会議所青年部会長として、前橋まつり・花火大会・ローズクイーンコンテスト・観光協会・国際交流等地元の産業活性化のために全力で取り組みました。

今後とも、公私共に郷土群馬と一心同体となつて全力でとりくんでいきたいと思えます。

(羽鳥国際特許
商標事務所
弁理士羽鳥
亘)



▲事務所屋上からの赤城山展望